W114SHT_(02)_

空気より軽い12A・13Aガス用

家庭用

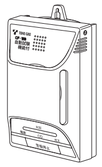
TOHO GAS

住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

住宅用防災警報器 検定合格品
一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

品名 **CF-WB**　型式名 **XW-114S**

取扱説明書　保証書付



- 住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器をお取り付けいただきありがとうございました。
- この取扱説明書は住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 本取扱説明書は、下ページに保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、取扱店または、お近くの東邦ガスにお問い合わせください。
- 本警報器は、火災による煙を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は火災による煙を感知して、警報を発するものです。換気扇等により煙が吸引され、煙感知部に煙が到達しない場合は、火災警報機能が働きません。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働きません。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
⚠警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

「必ず行う」事項を示しています。	「水ぬれ禁止」事項を示しています。
「火気厳禁」事項を示しています。	「分解禁止」事項を示しています。
「ぬれ手禁止」事項を示しています。	「一般的な禁止」事項を示しています。

⚠危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などにより、爆発の恐れがあります。

必ず行う　ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

火気厳禁　マッチやライターなど、火気を使わないでください。

禁止　換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

禁止　電源プラグを抜かないでください。

禁止　部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。

必ず行う　CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

必ず行う　火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。

禁止　部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

⚠警告

必ず行う　常に電源が入っていること(緑(電源)ランプ点灯)を確認してください。
電源が入っていないと火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

必ず行う　設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
誤動作または正常に作動しない恐れがあります。また、5年を越えて長期間ご使用されますと、電源プラグ(予備コンセント含む)がほこりや水分の影響により発煙・発火する恐れがあります。
有効期限は、貼ってある有効期限ラベルに示しています。

必ず行う　噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.19～21参照)
●警報器をポリ袋などで覆ってください。
●噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除いてください。
誤作動の原因となります。

水ぬれ禁止　警報器や電源プラグ(予備コンセント含む)を水につけたり、水をかけたりしないでください。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

分解禁止　分解や改造はしないでください。
故障の原因となります。

禁止　衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

禁止　警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。
火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。
警報器以外の電気製品を同時に使用するときは、警報器の電源プラグに付属の予備コンセントを使用してください。

禁止　電源コードにステップルや釘などを打たないでください。
火災の原因となります。

禁止　ガス検知部は、絶対にふさがないでください。
ガスもれまたはCOを検知しなくなります。

禁止　煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。
点検ガスにフロンガスが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

電源プラグや予備コンセントを使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。
火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

必ず行う　電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。
火災の原因となります。

必ず行う　警報器の電源プラグ・予備コンセントに接続する他の電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。

必ず行う　予備コンセントには、消費電力が1490W以下の機器を接続してください。
1490Wを超えると火災の恐れがあります。

必ず行う　予備コンセントに接続する他の電気製品は、必ず電源スイッチを切ってから電源プラグの抜き差しを行ってください。
感電の恐れがあります。

ぬれ手禁止　ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。
感電する恐れがあります。

禁止　警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。
(例えば掃除機などの移動して使用する電気製品を接続することや、頻繁に抜き差しすることはおやめください。)

⚠注意

必ず行う　警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。
感電やけがの原因となります。

必ず行う　警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

禁止　取付位置を移動させないでください。
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、取扱店ご相談ください。

禁止　警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
警報の遅れの原因となります。

禁止　警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。
ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

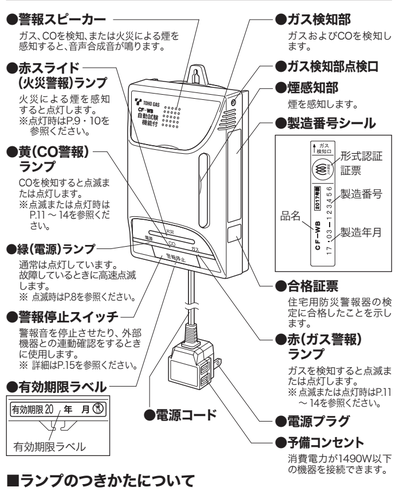
禁止　この商品は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当いたしませんので、それらの用途には使用できません。

対象ガス

⚠注意

- この警報器は火災(火災等による煙)、都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼排ガス中のCOを検知します。
- 都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外ではお使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



■ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点灯、点滅、高速点滅、ゆっくり点滅は次のように動作します。

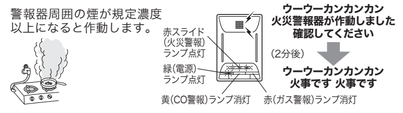
点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し(0.5秒周期)	点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し(0.25秒周期)	点滅周期
ゆっくり点滅	点灯と消灯の繰り返し(2秒点灯・1秒消灯周期)	点滅周期

警報器のお知らせ機能について

火災による煙が発生したときは

P.9・10参照

警報器周囲の煙が規定濃度以上になると作動します。



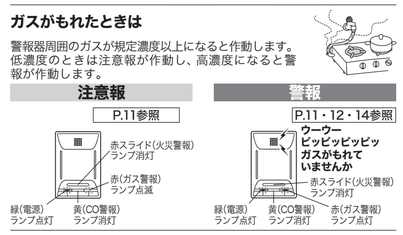
火災による煙と同時に不完全燃焼によるCOが発生したときは

P.9・10参照

警報器周囲の煙とＣＯが規定濃度以上になると作動します。

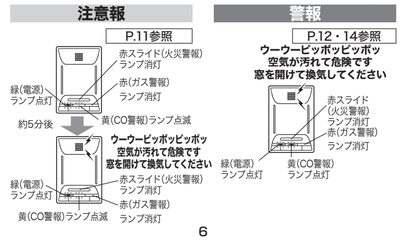
ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)



保証書

商品名　住宅用火災(煙式)・ガス・ＣＯ警報器　　品名　ＣＦ－ＷＢ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この保証書は、東邦ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料点検・無料取替えをお約束するものです。万一故障いたしましたときは、本書をご提示の上、お買い上げの取扱店、または東邦ガス修理受付ダイヤルにご連絡ください。

1．保証期間
(1) 保証期間は、お取付け後5年間とし、警報器本体を対象とします。
なお、警報器本体の有効期限はお取付け後５年間です。
(保証期間終了年月(有効期限)は、機器本体ラベルに「西暦と月」で記入しております。)

2．点検の実施
(1) 取扱説明書に基づいた使用状態で、誤作動等の異常が発生した場合には、点検いたしますのでご連絡ください。
(2) 点検の結果、故障が認められた場合は、点検を無料として無料取替えいたします。

3．保証書の適用除外
保証期間内であっても、次の場合には、有料点検・有料取替えとなります。
(1) 点検の結果、本製品に異常が認められない場合。
(2) 取扱説明書に基づかないで使用して生じた故障または損傷。
(3) 火災、凍結、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、犬・猫・ねずみ・鳥・くも昆虫等の動物による故障または損傷、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障または損傷。
(4) 水や煮こぼれ等の液体による故障または損傷。
(5) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障または損傷。
(6) 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、筐体の色あせ等の経年変化、ご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
(7) 当社の供給するガス以外や指定規格外の電気等を使用した場合の故障または損傷。
(8) 本製品のお買上げ取扱店または当社が指定した取付業者以外で取付けられた場合の故障または損傷。
(9) お買い上げ後に、お客さまによる取付位置の移動、落下、衝撃等に起因した故障または損傷。
(10) お買い上げ後に、分解、改造等が行われた場合の故障または損傷(ただし、当社都合の場合は除く)。
(11) 本書にお取付け日、取扱店名・住所の記入捺印がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(12) 本書のご提示がない場合。

4．お客さまへ(ご注意)
(1) 本書をお受け取りになるときに、お取付け日、取扱店名・住所が記入捺印してあることを確認してください。
(2) 本書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
(3) 保証期間(有効期限)経過後は、新しい商品とお取替えください。
(4) 本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
(5) 無料点検・無料取替えやアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの取扱店、または東邦ガス修理受付ダイヤルにお問い合わせください。

お取付け年月　　年　　月

取扱店名　(店名)

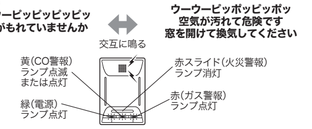
(住所)

(ＴＥＬ)

保証履行者　東邦ガス株式会社
〒456-8511　名古屋市熱田区桜田町19番18号
保証責任者　新コスモス電機株式会社
〒532-0036　大阪市淀川区三津屋中2-5-4

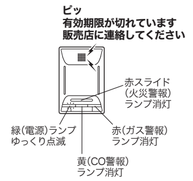
ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。　P.13～P.14参照



有効期限が過ぎたときは

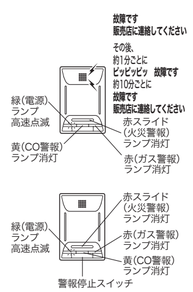
有効期限を半年以上過ぎると緑(電源)ランプがゆっくり点滅し、警報停止スイッチを約1秒間押すと、「ピッ　有効期限が切れています　販売店に連絡してください」が鳴ります。
また、有効期限を半年以上過ぎて電源を再投入すると、30秒後に「正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています　販売店に連絡してください」が鳴ります。
※取扱店までご連絡ください。



故障しているときは

故障が発生すると、「故障です　販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。
その後「ピッピッピッ　故障です」と約1分ごとに繰り返し鳴り、約10分ごとに「故障です　販売店に連絡してください」が鳴ります。
それ以降も同じ警報を繰り返します。

ただし、警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ　故障です　販売店に連絡してください」が鳴り、警報が停止します。(再鳴動しません)
緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。
※取扱店までご連絡ください。
※警報音停止時に、警報停止スイッチを押すと「ピッ　故障です　販売店に連絡してください」が鳴ります。



使用方法

1 電源プラグをコンセントに差し込む。
緑(電源)ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。

2 電源に接続してから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉
最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)

3 「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯し、監視状態に入ります。

〈警報器が故障している場合〉
「正常です」とは鳴らずにP.8に記載している故障発生時の動作となります。
※取扱店までご連絡ください。

1 『ウーウーカンカンカン 火災警報器が作動しました 確認してください』

と鳴り、2分後

『ウーウーカンカンカン火事です 火事です』

と鳴ったときの処置のしかた

【赤スライド(火災警報)ランプが点灯】

または、

『ウーウーカンカンカン　火事です 火事です』

と鳴ったときの処置のしかた

【赤スライド(火災警報)ランプが点灯と黄(CO警報)ランプが同時点灯または点滅】

【赤スライド(火災警報)ランプが点灯と赤(ガス警報)ランプと黄(CO警報)ランプが同時点灯または点滅】

⚠危険

消火が不可能なときは、避難してください。

必ず行う

《お断わり》
- 火災以外の煙などで火災警報を発している場合でも、赤(ガス警報)ランプおよび黄(CO警報)ランプの点灯、点滅の有無を確認してください。
※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報およびCO警報は発しません。
- 赤(ガス警報)ランプおよび黄(CO警報)ランプが点灯している場合は、P.11～P.14の処置を行ってください。

〈火災以外の煙などで火災警報を発しているとき〉
P.15の処置を行ってください。

1 火元の確認をしてください。

2 必要な消火手段をとってください。

119番への通報　　初期消火

天ぷら油から炎が出ているときは、ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。
メーターガス栓をあけるときは東邦ガスにご連絡ください。

警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやみ、赤スライド(火災警報)ランプが消灯します。

2 赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

1 ドアや窓を開けて換気してください。
しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。

2 原因を確認してください。
もれたガス濃度がうすい場合に赤(ガス警報)ランプが点滅します。
ＣＯ濃度がうすい場合に黄(CO警報)ランプが点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.16参照)

《お断わり》
- 外部機器と連動している場合、ガス注意報やCO注意報(黄ランプの点滅のみであり、CO警報音が鳴っていない状態)では、外部機器は連動動作しません。
※ 黄(CO警報)ランプの点滅が約5分間継続すると、「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」と鳴りはじめ、外部機器と連動動作します。

3 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』

と鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガス警報)ランプが点灯】

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などによる爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

火気厳禁

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

禁止

電源プラグを抜かないでください。

禁止

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス栓や器具栓を閉めてください。
ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやみます。
【赤(ガス警報)ランプ消灯】

4 ガスもれの原因を点検してください。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

4 『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』

と鳴ったときの処置のしかた

【黄(CO警報)ランプが点滅または点灯】

⚠危険

警報音が鳴ったら、
すぐに換気し、使用中のガス機器を止めてください。
CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉めてください。
ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください。

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやみます。
【黄(CO警報)ランプ消灯】

5 『ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウーピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』

が交互に鳴ったときの処置のしかた

【赤(ガス警報)ランプが点灯と黄(CO警報)ランプが点滅または点灯】

⚠危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
火花などによる爆発やCO中毒の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

火気厳禁

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

禁止

電源プラグを抜かないでください。

禁止

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、
ガスコンセントからソケット
を外してください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。
【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】

4 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

6 部屋の外から警報音に気づいたときの処置のしかた

⚠危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、すぐに入室しないでください。
・もれたガスの濃度が濃くなっている場合が考えられます。
・CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。
・火花などによる爆発やCO中毒の恐れがあります。

1 部屋に入らないでください。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉めてください。

メーターガス栓をあけるときは東邦ガスにご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認してください。

5 ガス栓や器具栓を閉めてください。

ガスコンセント接続の場合、
ガスコンセントからソケット
を外してください。

6 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

7 処置をしても、警報音が鳴りやまないときの処置のしかた

ガスくさい場合（緊急）へ連絡する

●ガスくさい場合(緊急)の連絡先
・24時間365日受け付けています。
・ご連絡の際は、お名前・ご住所・お電話番号、ガスくさい状況をお伝えください。

お住まいの地域	電話番号
愛知県	(052) 872-9238
岐阜県	(058) 272-0088
三重県	(059) 224-0225

おねがい

●たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
●ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。
●ガス機器の点検を お申し込みの場合は、東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。
※警報器と戸外ブザーを接続している場合
警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

8 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれやCO以外の空気の汚れで、赤（ガス警報）ランプや黄（CO警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、
●ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
●CO警報は、黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音は1回だけ5分間止めることができます。
※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。
※外部機器と接続していて、かつ警報器周辺のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。

2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まります。

火災以外の煙で火災警報音が鳴ったときは

〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。
※ 警報器周囲の煙が規定濃度以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。5分後に再警報してもスイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。
※ 外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。

2 警報器周囲の煙が規定濃度以下になると、警報音が鳴りやみます。

⚠注意

火災警報、ガス警報、CO警報が同時または火災警報、CO警報が同時に起こった場合、警報停止スイッチを押しても警報は停止しません。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

〈ガス警報・CO警報〉
●スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
●タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
●芳香剤などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
●線香の煙が警報器にかかっていませんか。
●溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
●アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
●フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
●長時間、部屋を閉め切っていませんか。
●焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
●みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
●可燃性のガスなどを使用していませんか。
●警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
●長い間閉め切っている部屋に設置していませんか。建材などから発生する成分の作用によって、警報音が鳴りやすくなることがあります。

以下の場合は、ガスもれやCOで警報しており誤報ではありません。
●換気が十分でない状態で、湯沸かし器を使用した場合。
●ガスコンロの着火ミスがあった場合。
●自動車の排気ガスが室内にこもった場合。
●炭火や練炭を使用した場合。

〈火災警報〉
●調理の煙や湯気などが警報器にかかっていませんか。
●砂、ほこり、虫などが警報器の煙感知部に侵入していませんか。
●タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
●線香の煙が警報器にかかっていませんか。
●くん煙式、くん蒸式の殺虫剤が直接かかっていませんか。
●焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
●警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

ランプ 緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	赤スライド(火災警報)	音声内容	事　象
●	○	○	○	なし	通常動作(監視中)
●	○	◎	○	なし	ガス注意報
●	○	●	○	ガス警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	ガス警報
●	◎	○	○	なし	CO注意報
●	◎または●	○	○	CO警報音声「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」	CO警報
●	◎	◎	○	なし	ガス注意報とCO注意報
●	◎	●	○	ガス警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	ガス警報とCO注意報
●	◎	◎	●	火災警報音声「ウーウー　カンカンカン　火災警報が作動しました　確認してください」2分後の音声「ウーウー　カンカンカン　火事です　火事です」	火災警報
●	○	○	●		火災警報と注意報
●	○	●	●		火災警報とガス警報
●	◎	○	●		火災警報とCO注意報
●	◎	◎	●		火災警報とガス注意報とCO注意報
●	◎	●	●		火災警報とガス警報とCO注意報
●	◎または●	○	●	火災警報音声「ウーウー　カンカン　火事です　火事です」	火災警報とCO警報
●	◎または●	◎	●		火災警報とガス注意報とCO警報
●	◎または●	●	●		火災警報とガス警報とCO警報
●	○	○	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」	火災連動警報
●	○	◎	●		火災連動警報とガス注意報
●	○	●	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」とガス警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」の交互音声	火災連動警報とガス警報
●	◎	○	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」	火災連動警報とCO注意報
●	◎または●	○	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」とCO警報音声「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」の交互音声	火災連動警報とCO警報
●	◎	◎	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」	火災連動警報とガス注意報とCO注意報
●	◎	●	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」とガス警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」の交互音声	火災連動警報とガス警報とCO注意報
●	◎または●	◎	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」とCO警報音声「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」の交互音声	火災連動警報とCO警報とガス注意報
●	◎または●	●	●	火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」とガス警報音声「ウーウー　ピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」と火災連動警報音声「ウーウー　別の火災警報器が作動しました　確認してください」とCO警報音声「ウーウー　ピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」の順次音声	火災連動警報とガス警報とCO警報
高速点滅	○	○	○	故障警報音声はじめに「故障です　販売店に連絡してください」と鳴り、1分ごとに「ピッピッピッ故障です。」10分ごとに「故障です　販売店に連絡してください」を繰り返す	故障警報(警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)
ゆっくり点滅	○	○	○	有効期限切れ音声「ピッ　有効期限が切れています　販売店に連絡してください」※警報停止スイッチを押した場合	有効期限切れ(警報器の有効期限が半年以上過ぎた場合)

●・点灯、◎：点滅、○：消灯
※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。

《お断わり》
外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器の警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

2 警報器を取り外してください。(P.19参照)

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。

●警報器表面・壁面
布に水または石けん水を浸し、よく絞ってからふき取ってください。
●電源プラグ
乾いた布でふき取ってください。

おねがい

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤（ガス警報）ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

4 警報器を取り付けてください。(P.19参照)

5 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

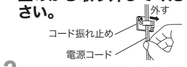
〈警報器の動作〉
●電源プラグをコンセントに差し込むと、警報器の電源が入ります。
緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。
故障の場合は「故障です　販売店に連絡してください」と鳴りますので、販売店にご連絡ください。有効期限が過ぎている場合は「有効期限が切れています　販売店に連絡してください」と鳴ります。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉
電源を入れてから約30秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。（鳴動原因表示機能によるものです。）

警報器の取り外し・取り付けかた

〈取り外しかた〉

1 電源コードをコード振れ止めから取り外してください。

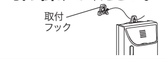


2 本体を持ち上げて取り外してください。

既存の取付板からの取り外しかた

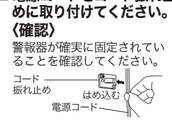
〈取り付けかた〉

1 警報器を取付フックに引っ掛けてください。



既存の取付板への取り付けかた

2 電源コードをコード振れ止めに取り付けてください。
〈確認〉
警報器が確実に固定されていることを確認してください。



噴霧式殺虫剤を使用するときは

⚠警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに噴霧式殺虫剤を使用すると、噴霧後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。また、外部機器（インターホンなどの集中監視機器）と接続しているときは、警報器の電源プラグを抜くと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。

⚠注意

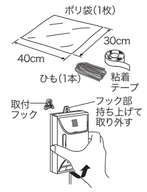
ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。

1.警報器をポリ袋で覆ってください

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき

〈準備するもの〉
● ポリ袋(30㎝×40㎝・1枚)
ポリプロピレン製(ポまたは>PP<表示)
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
●ひも(1本)
●粘着テープ

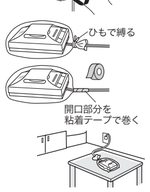


〈処置のしかた〉
①警報器を取り外してください。
(P.19参照)

②警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。

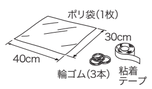
③ポリ袋と電源コードの間に隙間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。

④ポリ袋を傷めないように、警報器を安定するところに置いてください。

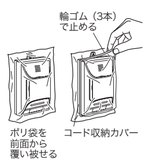


警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき

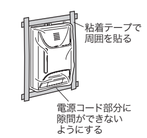
〈準備するもの〉
● ポリ袋(30㎝×40㎝・1枚)
ポリプロピレン製(ポまたは>PP<表示)
※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
● 輪ゴム(3本)
● 粘着テープ
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、
またはずすときに壁面を傷めないテープを選んでください。



〈処置のしかた〉
①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード収納カバー部分を輪ゴム（3本）でしっかり止めてください。



②ポリ袋の端を粘着テープで壁面に貼り付けてください。
ポリ袋と壁面の間に隙間ができないように、粘着テープを貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分や電源コードが通っている部分に注意してください。
※壁面などの状況により、粘着テープでの貼り付けができない場合、①のみの処置でも一定の効果はあります。



2.噴霧式殺虫剤を噴霧してください

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

●部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
●噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
●ポリ袋と壁面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
●警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
●経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3.ポリ袋を取り外してください

噴霧が終わったら、ポリ袋を外してください。
警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。

おねがい

粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

定期点検

日常の点検

日常、警報器の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。
※ 緑（電源）ランプが消灯もしくは高速点滅している場合は、販売店に連絡してください。
（P.22「故障かな？と思ったら」を参照ください。）

外部機器との連動確認機能について

⚠警告

点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

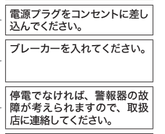
⚠注意

● 外部機器(マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等)が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
● マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

〈連動確認のしかた〉
① 警報停止スイッチを押すと「ピッ」と鳴り、緑（電源）ランプが点滅を開始します。そのまま5秒間押し続けると、「ピッピッ」と開始音が鳴ります。
② 警報停止スイッチから手を離すと以下のように動作することを確認してください。(外部出力信号が1分間出力されます。有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。火災警報時の信号も同時に出力します。)

動作順	音声内容	ランプ 緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	赤スライド(火災警報)	火災連動出力	有電圧出力(12V⇔18V)
1	「ウーウーカンカンカン　火事です　火事です」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
2	「ウーウーカンカンカン　火災警報器が作動しました　確認してください」	点滅	消灯	消灯	点灯	ON	ON
3	「ウーウーピッピッピッピッ　ガスがもれていませんか」	点滅	消灯	点灯	消灯	ON	ON
4	「ウーウーピッポッピッポッ　空気が汚れて危険です　窓を開けて換気してください」	点滅	点灯	消灯	消灯	ON	ON
5	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

③約1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態（緑(電源)ランプ点灯）に戻ります。
※ 1分以内に連動確認を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ピー」と鳴り、終了します。



故障かな？と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
●緑(電源)ランプが消灯している。 ●警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源ブレーカーが切れていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	停電していませんか。	停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
緑(電源)ランプが高速点滅している。	警報器の故障を知らせています。	販売店に連絡してください。(機器故障音声機能)
緑(電源)ランプがゆっくり点滅している。	警報器の有効期限切れを知らせています。警報停止スイッチを1秒間押してください。	「ピッ　有効期限が切れています　販売店に連絡してください」と鳴りますので、新しい警報器に交換(有償)してください。(有効期限切れ音声機能)
火災、ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	原因を調べてください。(P.16 参照)	ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。煙感知部内にうちわ、ドライヤー（冷風）などで風を送り、砂や埃こう、虫などを取り除いてください。それでもよまらない場合は、電源プラグを抜き、ガスくさい場合の連絡先へ連絡してください。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
火災、ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴る。	ガス機器の異常が考えられます。	ガス機器の点検を受けてください。(有償)
	ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが1秒間点灯する。	10日以内に警報を発していませんか。	鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.9 参照)
電源を入れたときや、警報停止スイッチを1秒以上押したときに「有効期限が切れています　販売店に連絡してください」と鳴る。	警報器の有効期限ラベルに記載の有効期限が切れていませんか。	有効期限が切れていれば、取扱店に連絡してください。(P.8 参照)

廃棄について

●リース品の場合
有効期限の過ぎた警報器は、取扱店にて回収いたします。

●お買い上げ品の場合
一般の不燃ごみとして廃棄できますが、廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。

仕様

項目			仕様
火災警報機能	種別		光電式住宅用防災警報器
	検知原理		煙感知方式（光電式）
	感知性能		2種
	火災連動入出力*		相互鳴動用火災連動入出力　有極性　自動復帰式 監視時入力（DC30V 以下）警報時出力（DC12V 以下、100mA）
ガス警報機能・CO警報機能	対象ガス		都市ガス（空気より軽い 12A・13A ガス用） 燃焼排ガス中の CO
	検知方式		半導体式
	都市ガス警報	作動条件	*爆発下限界濃度の 1/4 の都市ガスに対し 60 秒以内に警報
		表示・発報方式	赤（ガス警報）ランプ点灯 音声合成警報音
	都市ガス注意報	作動条件	ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報
		表示・発報方式	赤（ガス警報）ランプ点滅 発報音無し
	燃焼排ガス中のCO CO警報	作動条件	550ppm の CO に対し　5 分以内に警報 300ppm の CO に対し　10 分以内に警報
		表示・発報方式	黄（CO 警報）ランプ点灯または点滅 音声合成警報音
	燃焼排ガス中のCO CO注意報	作動条件	300ppm の CO に対し　5 分以内に注意報
		表示・発報方式	黄（CO 警報）ランプ点滅 発報音無し
	外部出力信号		有電圧出力　3 段階有電圧 2 線式 （監視時 DC6V、電源 OFF 時・故障診断時 0V、ガス警報時 DC12V、CO 警報時 DC18V）

項目		仕様
共通仕様	警報音量	70dB(A)/m以上
	電源	AC100V±10V　50/60Hz
	消費電力	監視時　約0.7W、警報時　約1.2W
	付属機能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使用温度範囲	0℃～+40℃（結露しないこと）
	寸法・質量	幅85×高さ125×奥行き44mm（突起部を除く）、約285ｇ
	電源コード	長さ　2.5m(約2.2mは警報器背面に巻取可能) 予備コンセント付プラグ （予備コンセントに接続できる電気製品は、1490W以下）
	付属品	コード振れ止め×3、木ねじ(φ3.1×10mm)×3、木ねじ(φ3.1×16mm)×2、取付フック×1、ピン(φ1×20mm)×10、接続用リード線×1、取付板×1、取扱説明書(本書)×1、施工説明書×1、リースシール×1

☆ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。
★ マイコンメーターと接続して使用する場合は、警報器アダプターが必要になります。

アフターサービスについて

■ **この警報器は、5年間の無償保証です。**
この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で、警報器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。
ただし、保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
■ **保証書に取り付け年月および取扱店名の記入のないものは、無効となることがあります。**
お取り付け時にご確認ください。
■ **この警報器の有効期限は、お取り付け後5年間です。**
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
■ **保証書は大切に保管してください。**
■ **アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。**
■ **警報器の有効期限を過ぎたときは、取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。**
■ **作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。取扱店または東邦ガス修理受付ダイヤルまでご連絡ください。**
■ **引越しをされるときは、取扱店またはお近くの東邦ガスへご連絡ください。**
■ **他の地区に引越されたときは、お近くのガス事業者に連絡をとり、ガス種に適合していることを確認してください。**

《お断わり》
有効期限は、保証書記載の年月よりも、警報器本体に貼ってある有効期限ラベルに記載の年月が優先されますので、有効期限ラベルの年月を確認してください。

	東邦ガス　修理受付ダイヤル	電話受付時間
ガス機器修理等のお申し込みは	ナビダイヤル 0570-070456 ※IP電話をご利用の方は、お近くの東邦ガスへおかけください。	24 時間 365 日、修理等の訪問予約を承ります